



大八まちづくり協議会

大八まちづくり協議会は、子どもを起点に地域防災を日常化する取組を進めています。東小学校では2022年度から防災クラブを設立し、授業参観での親子防災教室や教職員向け研修も実施することで、子どもから大人まで防災意識を高めています。子どもたちは学ぶだけでなく、自分たちで考え行動し、防災を自分事として捉えています。

東山中学校では、生徒会が全校対象の防災啓発活動を展開しています。小中学生は大型防災カルタや防災ゲームの作成、シェイクアウト訓練動画などの作成にも挑戦しており、主体的に防災啓発活動を行っています。

訓練には高齢者や要配慮者も参加し、福祉・医療関係者と連携しながら、情報共有や会議を通じて課題の把握と解決策の検討を進めています。町内会加入の1555世帯中640名が登録している電子回覧板「結ネット」を活用した安否確認訓練も行っています。また、補助制度により一時避難所の備蓄や防災士取得費用の支援も進め、多様な世代や立場に応じた参加機会を確保しています。誰も取り残さないネットワークを地域内で築き上げています。

こうした活動を通じて、児童・生徒の主体性が育ち、地域ネットワークも強化されました。子どもたちの気づきや学びが地域全体に伝わることで、日常の中で防災を育む文化が根つき、世代や立場を超えて支え合う力が形成されています。今後も活動を継続し、地域全体で防災意識を高め、安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。



小学生の防災学習発表



避難所設営体験



防災まち歩き



地区防災計画ワークショップ